

天皇賞(春)

阪神で行われた昨年の天皇賞春も父サンデー系で
欧州色が強い(米国スピード色が薄い)配合馬が 1、2 着。
今年も馬力型のサンデー系を重視。

本命はマカオンドール。

父ゴールドシップは阪神芝 3000m の阪神大賞典を 3 連覇。
宝塚記念も連覇。阪神芝が得意な馬力型長距離馬。
母父ダルシャーンは欧州指向の末脚勝負の名血。
母母父ヌレイエフも欧州型の一流種牡馬。
ネヴァーバンド系×ノーザンダンサー系の組み合わせは欧州の主流配合。
阪神適性と欧州要素が強化された配合。

母系は名牝ナタルマの一族。
同牝系からノーザンダンサー、ディンヒル、マキャベリアン、
ハイローなど世界の超一流馬を輩出するファミリー。
桜花賞のナムラクレア同様、スケールが問われる G1 でこそその牝系。

対抗はアイアンバローズ。

こちらも父はステイゴールド系。
母系は欧州血統の塊。マカオンドール同様ヌレイエフ持ち。

3 番手はサンデー系で母父欧州型。
昨年も 2 着のディープボンド。

ステイゴールド系の上位独占にも期待。